

## 普代バイパス

# 早期完成に期待

## 本年度は橋脚7基を工事



普代バイパスの橋脚7基の工事が進む宇留部地内（太田名部橋から北方向）



国土交通省三陸国道事務所が整備を進める普代バイパスは現在、宇留部から銅屋地内の高架橋下部工の工事を進め

ています。本年度の対象工事は同バイパス内の普代高架橋（490トメ）のコンクリート製橋脚7

基。工事費は約6億5千万円です。同バイパスはこれまでにトンネル2本と高架橋の橋台2基、橋脚1基が完成して



工事の安全を祈る関係者の皆さん



米田正さん

2月7日開かれた村議会臨時会で旭日区の米田正さん（62）が村監査委員に選任され

監査委員に  
**米田正さん**

います。現在は、残る橋脚8基のうち、7基に工事着手しています。11月21日には、村宇留部地内の村営住宅前の広場で安全祈願祭が開かれました。施工業者と発注者の国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所、村から深渡宏村長、熊谷聰村議会議長など関係者約40人が出席し、工事の安全を願いました。

神事に続き同事務所の柴田久所長は「地方における社会資本整備はまだ十分なものとなつていません。今後も地域

の二ニーズを踏まえ、安全安心の確保に努めて参ります」とあいさつしました。

同バイパスは地域高規格道路の三陸北縦貫道路（宮古市→久慈市、約90キロ）の一部で事業費は約130億円。三陸鉄道普代駅付近から北側2・3キロが先行整備区間で、普代高架橋はその一部となります。